

## 7 月 28 日 インドネシア、パプアの地震

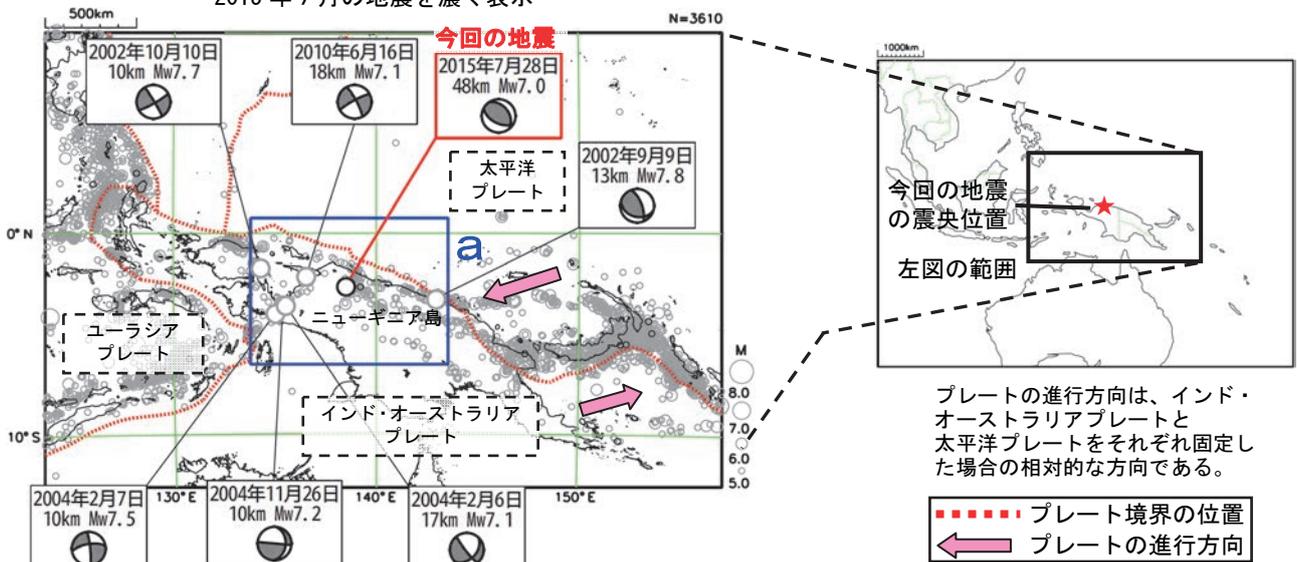
2015 年 7 月 28 日 06 時 41 分（日本時間、以下同じ）に、インドネシア、パプアの深さ 48km で Mw7.0 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近で発生した。

2000 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、M6.5 を超える地震が時々発生している。2004 年 2 月 6 日には Mw7.1 の地震、翌 7 日には Mw7.5 の地震が発生し、現地では死者 37 人、負傷者 682 人の被害が生じた。

1970 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺では、M7.0 以上の地震が頻繁に発生している。1996 年 2 月 17 日には M8.1 の地震が発生し、父島で 104cm、串本（和歌山県）で 96cm など、日本でも津波を観測した。1998 年 7 月 17 日の M7.1 の地震では、津波により死者 2700 人、負傷者数千人などの被害が生じた。

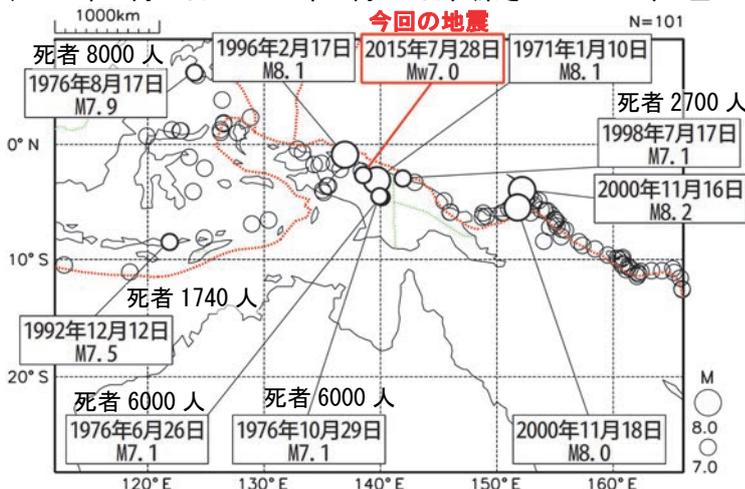
なお、気象庁は同日 07 時 12 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

震央分布図  
(2000 年 1 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、深さ 0～100km、M≥5.0)  
2015 年 7 月の地震を濃く表示



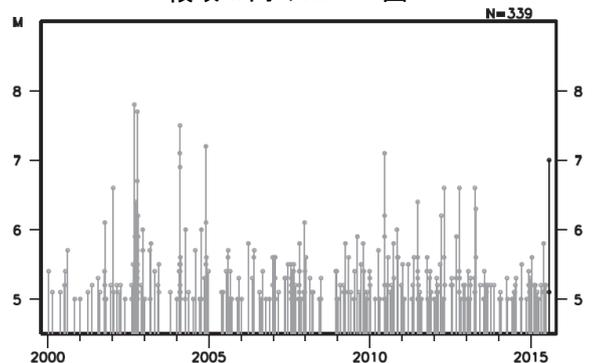
領域 a 内において、今回の地震、Mw7.0 以上の地震に吹き出しを付けた。

震央分布図  
(1970 年 1 月 1 日～2015 年 7 月 31 日、深さ 0～100km、M≥7.0)



今回の地震、M8.0 以上の地震、及び死者 1000 人以上の地震に吹き出しを付けた。

領域 a 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震及び 2009 年以降の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震の発震機構と Mw は GlobalCMT による。震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2015 年 8 月 3 日現在)。過去の被害は、宇津及び国立研究開発法人建築研究所国際地震工学センターによる「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird (2003) \*より引用。

\*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.